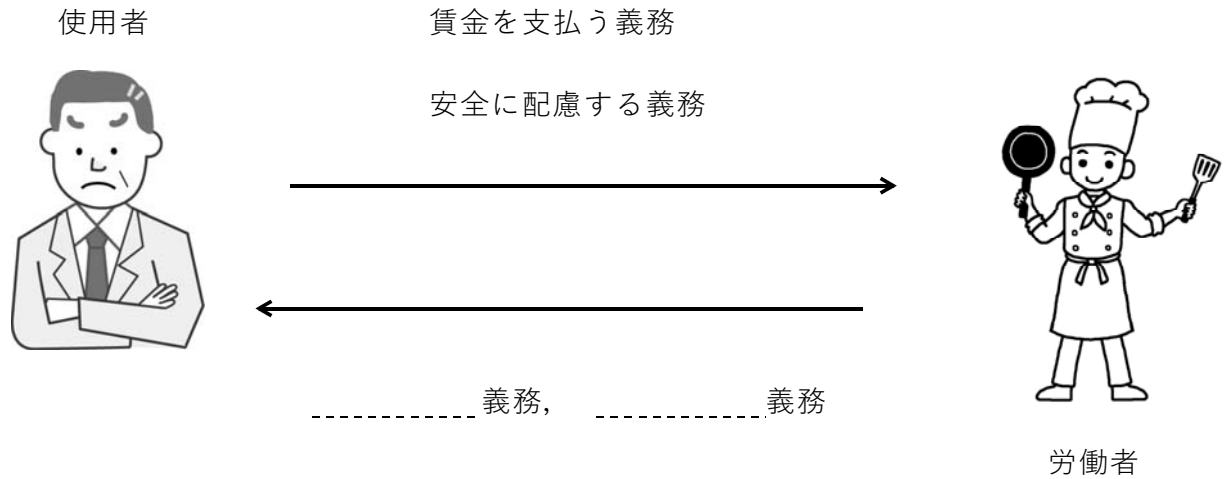


■ ■ ■ 労働者の義務と懲戒 ■ ■ ■

● 使用者と労働者はどんな義務を負うの？



● 誠実義務とは

労働者は、使用者の正当な利益を不当に侵害してはならない

1) _____義務

* 会社の _____ や _____ リストを漏らさない

Q1 退職した後も秘密保持義務を負うの？

→ _____として _____ (∵雇用契約は終了しているから)

例外的に、損害賠償や差止め^{さしと}を請求される可能性もある

例外① _____に違反する場合

* 保護対象は、「 _____として管理されている _____方法、
販売方法その他の事業活動に有用な _____上 又は _____上
の _____であって、公然と知られていないもの」

例外② 秘密保持の _____を結んだ場合

* 特約を結んでいたとしても、一般的なノウハウであれば違反にならない

2) _____義務

* ライバル会社で _____したり, 自ら _____したりしないこと

→ 原則として, 義務は _____

(∵ 日本国憲法では _____の自由を認めているから)

※ ただし, 就業規則や労働契約で兼職禁止のルールが _____されており, かつ,

ルールが _____と認められる場合に限って制限できる

Q2 退職した後も競業避止義務を負うの?

→ _____に署名押印して退職金をもらった場合には負う

※ ただし, あまりにも長期の制限だと合理性が認められない可能性が高い

設例 Aさんは, 昼間はフレンチの店で, 夜は居酒屋で働き, 朝には実家の手伝いで新聞配達をしていた。ところがある日, 兼職をしていることがF社にバレてしまった。F社は「兼職なんて当然禁止だ!」とあって, Aさんを解雇してしまった。

● 懲戒

使用者は, 懲戒事由と懲戒内容を「就業規則」で定めなければならない

懲戒処分の種類

a. _____ : 重大な義務違反がある場合の「最後の手段」

* 履歴書の「賞罰」に書かなければならない

* 退職金は払われないことが多い

b. _____解雇 : 自分から辞めてもらうよう勧告する

c. 降格

d. 出勤停止

e. 減給

f. 譴責(けんせき) : 始末書を提出させる